



グリーンリボンは
移植医療の
シンボルマークです。

脳死下臓器提供

こんなときは、いつでもご連絡ください

- ◎ご家族から臓器提供の申し出・相談があった場合
- ◎意思表示カードを所持しているまたは、
健康保険証、運転免許証等に記載がある場合
- ◎臓器提供の可能性がある場合
- ◎臓器提供・移植について質問がある場合

- ・佐賀県臓器移植コーディネーター
0952-25-6101
- ・(公社)日本臓器移植ネットワーク
(ドナー専用ダイヤル) **0120-22-0149**

※選択肢提示の際に
「ご家族のみなさまへ」を
ご活用ください。



脳死とされうる状態について

(法に規定する脳死判定を行ったとしたならば、脳死とされうる状態)

器質的脳障害により深昏睡、及び自発呼吸を消失した状態と認められ、かつ器質的脳障害の原疾患が確実に診断されていて、原疾患に対して行い得るすべての適切な治療を行った場合であっても回復の可能性がないと認められる者

ただし、
右記①～⑤は
除外する

- ①生後 12 週(在胎週数が 40 週未満であった者にあっては、出産予定日から起算して 12 週)未満の者
- ②急性薬物中毒により深昏睡及び自発呼吸を消失した状態にあると認められる者
- ③直腸温が 32℃未満(6 週未満の者にあっては、35℃未満)の状態にある者
- ④代謝性障害又は内分泌性障害により深昏睡及び自発呼吸を消失した状態にあると認められる者
- ⑤知的障害等の臓器提供に関する有効な意思表示が困難となる障害を有する 15 歳以上の者
- ⑥被虐待児または虐待が疑われる 18 歳未満の児童

かつ
右記①～④の
いずれもが
確認された場合

- ①深昏睡
- ②瞳孔が固定し、瞳孔径が左右とも 4mm 以上であること
- ③脳幹反射(対光反射、角膜反射、毛様脊髄反射、眼球頭反射、前庭反射、咽頭反射、咳反射)の消失
- ④平坦脳波

ドナー適応基準について

右記の疾患
又は状態を
伴わないこと

- ・全身性の活動性感染症
- ・HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原などが陽性(HCV 抗体陽性の場合は移植の適応を慎重に検討する)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
- ・悪性腫瘍(原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く)

脳死下臓器提供の流れ

提供施設

18歳未満の児童からの臓器提供は虐待及び虐待が行われた疑いが否定されていることの確認を行う(倫理委員会等で臓器提供の可否について判断する)

移植 Co : 臨器移植コーディネーター

脳死とされうる状態と判断

- * 器質的脳障害により深昏睡、自発呼吸の消失を来し、原疾患の確実な診断及び適切な治療を行った事例であることを確認する。
- * 深昏睡、瞳孔散大・固定、脳幹反射消失、平坦脳波を確認する。

- * 臨器提供するか否かの確認ではなく、移植 Co の話を聞くか聞かないかの確認を行う。もしくはご家族からの申し出。

- ・ 佐賀県臓器バンク 0952-25-6101
- ・ 日本臓器移植ネットワーク 24時間対応
(ドナー専用ダイヤル) 0120-22-0149

第1次評価

移植 Co との打合せ
院内体制の確認
医学的情報収集

- * 移植 Co は倫理委員会等の承認及び脳死判定を行う体制について確認する。18歳未満の場合には虐待の疑いが否定されていることを確認する。
- * 医学的情報を確認し、適応について評価を行う。(第1次評価)

第2次評価

移植 Co によるご家族への説明
承諾書作成

- * 担当医師(担当看護師、院内 Co)は家族に移植 Co を紹介し、希望に応じて説明に立ち会う。
- * 移植 Co はご家族に脳死下臓器提供及び心停止後臓器提供の説明を行うとともに、運転免許証、健康保険証等の意思表示欄の確認を行う。
- * ご家族が脳死下臓器提供を希望された場合は、脳死判定承諾書と臓器摘出承諾書の作成手続きを行う。

第3次評価

ドナー候補者採血

- * 移植 Co は感染症及びHLA 検査用の採血を提供施設関係者に依頼し、移植検査センターへ血液を搬送する。
- * 移植 Co はカルテ等からドナー候補者の情報収集を行い、必要時にはメディカルコンサルタントに相談する。

提供施設関係者と打合せ

第1回法的脳死判定

6時間以上
(6歳未満24時間以上)

- * メディカルコンサルタントが来院し、CT や X-P 画像の確認、胸腹部エコー、気管支鏡などの検査を行う場合がある。(第2次評価)

* 担当医師は、移植 Co からの追加検査の依頼に対応する。
血液検査、培養検査、心電図、胸腹部 X-P 等

- * 脳死判定医は脳死判定記録書、脳死判定の的確実施の証明書を作成する。

* 死亡診断書の作成

検視(明らかな内因性疾患以外)

提供施設関係者と打合せ
(摘出チーム来院前)

- * 摘出チームはドナーの診察を行う。(第3次評価)
(CT、X-P 画像の確認、胸腹部エコー、気管支鏡等)

- * 麻酔科医、病理医(検査技師)、外回りの手術室看護師は、摘出手術の支援を行う。

* 印は提供施設に行っていただくことや移植 Co が提供施設に確認したりご協力をいただく箇所です。

臓器搬送

死後の処置・お見送り